

報道関係者 各位

2013年7月5日  
国立大学法人 東京農工大学

## 平成26年度東京農工大学工学部第3年次編入学試験問題の 出題ミスについて

平成25年7月4日（木）に実施しました東京農工大学工学部第3年次編入学試験の「化学（理科）」の問題において、出題ミスがあることが判明いたしましたので下記のとおり公表します。

受験者の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。今後、このようなことがないよう、再発防止に万全を期する所存でございます。

なお、平成26年度東京農工大学工学部第3年次編入学試験は、当初の日程どおり実施され、予定どおり7月12日（金）に合格発表することとしております。

### 記

#### 1. 出題ミスの内容

③の[2]の小問題(4)の本文中で、誤った表記があり、「適切な分子構造を解答し、同時に適切な試薬を選択肢から選ぶ」ことができない。

誤：「...フェーリング液を加えて加熱すると、酸化銅(I)の赤色沈殿が生成した。」

正：「...フェーリング液を加えて加熱しても、酸化銅(I)の赤色沈殿は生成しなかった。」

#### 2. 対象となる受験者数

5学科60名のうち化学選択者59名（他科目選択者1名）

#### 3. 出題ミス発見の経緯

化学（理科）の試験終了後、採点者が採点中に発見。

#### 4. 出題ミスへの対応

不公平が生じないように、当該問題について採点対象から外すこととし、その旨、影響のある受験生全員に連絡。

なお、他科目選択者1名が2日目の試験を受験しなかったことから、合否判定の対象となる受験者は全て化学選択者となったため、選択科目間の得点調整は行わない。

#### 5. 今後の対応策

今回の事例を含めたミス事例集などに基づく点検チェックを徹底するとともに、問題作成及びチェック体制のさらなる整備を行い、出題ミスの防止に努めてまいります。

添付資料 東京農工大学工学部第3年次編入学学生募集要項抜粋  
化学（理科）当該問題抜粋

#### ◆ 入試に関する問い合わせ ◆

東京農工大学学務部入試課

TEL : 042-367-5543 / FAX : 042-367-5585

## 東京農工大学工学部第3年次編入学学生募集要項抜粋

## ① 学力検査科目

学 科	共 通 科 目			専門科目 (筆記試験)	専門科目 (口述試験)
	自然科学		外国語		
	数学	理科※	英語		
生 命 工 学 科	○	物理・化学・生物から2科目選択	○		○
応 用 分 子 化 学 科	○	物理・化学必修	○		○
有 機 材 料 化 学 科	○	物理・化学必修	○		○
化学システム工学科	○	物理・化学必修	○		○
機械システム工学科	○	物理・化学必修	○	○	○
電気電子工学科	○	物理必修	○	○	○
情 報 工 学 科	○	物理必修	○	○	○

## (7) 試験日時

学 科	平成 25 年 7 月 4 日 (木)			平成 25 年 7 月 5 日 (金)		
生 命 工 学 科	数 学 8:45～10:15	英 語 11:00～12:30	理 科 13:45～16:15 注①	専門科目 (口述試験) 9:30～		
応 用 分 子 化 学 科						
有 機 材 料 化 学 科			理 科 13:45～15:00	専門科目 (筆記試験) 9:30～11:30	面接試験 13:30～	
化学システム工学科						
機械システム工学科						
電気電子工学科						
情 報 工 学 科						

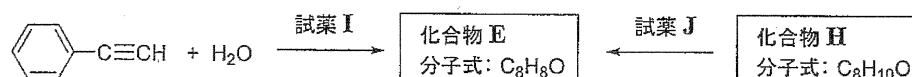
## (9) 合格者発表

平成 25 年 7 月 12 日 (金) 14:00 に本学のホームページ (<http://www.tuat.ac.jp>) に掲載および本学東門掲示板に掲示します。合格者には合格通知書を別途郵送します。

## 化学 (理科) 当該問題抜粋

[2] 分子式  $C_8H_8O$  をもつ芳香族化合物 **D**、**E**、**F** に関して、以下の問 (1)–(5) に答えなさい。

(4) 化合物 **E** はベンゼンの一置換体であり、フェーリング液を加えて加熱すると、酸化銅 (I) の赤色沈殿が生成した。また、下に示すようにフェニルアセチレンの水和、もしくは分子式  $C_8H_{10}O$  のアルコール **H** の酸化によって合成できる。化合物 **E** および **H** の構造式を示しなさい。また、それぞれの合成経路で用いる試薬 **I** および **J** として適切なものを次の (a)–(d) から選び、それぞれ記号で答えなさい (各合成経路における反応条件は、それぞれ適切な条件を用いるとする)。



- (a) アンモニア性硝酸銀水溶液、(b) ニクロム酸カリウム ( $K_2Cr_2O_7$ )、  
 (c) 硫酸水銀および希硫酸 ( $HgSO_4/H_2SO_4$ )、(d) 水素化リチウムアルミニウム ( $LiAlH_4$ )